



施工運営において様々な取り組みを積極的に実施

東京都教育庁

## 施工者挨拶 戸田建設株式会社東京支店 作業所長 吉武豊記

このたび、都立豊島高等学校(31)改築工事が完成の遊びになりましたことは施工を担当しました私共にとりましても誠に感謝しております。

本件の工事は、隣に既設校舎が運営されながら工事をすることで、又、前面道路も大型車両規制があり、住宅街内での工事であります。したがって、通学している学校周辺住民との協調を合わせながら、騒音や振動などの環境に対する配慮と工法を選択的に実施しました。

弊社はR10.0、SD0の取り組みを積極的に行っており、即ち、建設してどのような風景ができるのかを重視しました。

又、社員と作業員において世別、国別、宗教、年齢など様々な層の人たちが集まつて中で、安全で働きやすい作業環境作りを心掛け、多職種の人々が互いの考え方の違い個性を受け入れながらワーキングマネジメントの現場運営を推進しました。

(コロナ禍について)

施工の初期と新規コロナウイルス感染症大流行になったことから、感染防止が最優先課題となつたため、休憩所には手洗い設備や消毒液の設置を行なうとして感染防止対策を徹底しました。

(歌謡会の充実)

歌謡会の「歌謡会」を立ち上げ、近所との共生や場内の安全や文化化運営を積極的に進めて、2ヶ月の工期内に無事故で達成することができました。

(コロナ禍について)

施工の初期と新規コロナウイルス感染症大流行になったことから、感染防止が最優先課題となつたため、休憩所には手洗い設備や消毒液の設置を行なうとして感染防止対策を徹底しました。

(歌謡会の充実)

歌謡会の「歌謡会」を立ち上げ、近所との共生や場内の安全や文化化運営を積極的に進めて、2ヶ月の工期内に無事故で達成することができました。

## 都立豊島高等学校改築 完成

東京都教育局が平成31年から建設を進めていた「都立豊島高等学校(31)改築工事」が完成した。同校は、昭和47年に建設された既存校舎等の老朽化から企画改築工事に着手したもので、新校舎は多様な学習スタイルに対応できる空間づくりとなっており、今後は体育館・武道場等の解説工事を行い、グラウンドを整備する予定である。施工は戸田建設株式会社(施工)・住友建設株式会社(電気設備)・大成設備株式会社(空調設備)・堺塗・ユタカ建設共同企業体(給水衛生設備)・設計・監理は株式会社横河建築設計事務所が担当し、コロナ禍での工事を一丸となって無事完了させた。

設計メモ

都立豊島高等学校は、1936年(昭和11年)に府立第十高等女学校として創立された全日本初及び定時制課程の伝統ある高等女学校です。改築の大部分で老朽化が進んでいた、東京都の「第二次 主要施設10か年維持更新計画」に基づき改築が進められました。

2018年(平成30年)に既存校舎の解体工事に着手し、今後、校舎棟の改築工事が竣工を予定。今後、既存体育館・武道場の解体、グラウンド整備工事を行い、2023年(令和5年)に全建が竣工する予定です。

敷地は、豊島区と板橋区の区境に位置し、小学校より大まで多くの教育施設や開拓した住宅地からなる複合地です。敷地周囲は道路を挟んで低層住宅となっており、既存の住環境を損なうことなく、新しい校舎が地域と共にできるようを目指しました。

建設工事は、既存の解体、特別教育室、官能部室がある校舎棟と、体育館、武道場、プールなどの主な体育施設を実現した屋外施設による2棟構成の型式です。

既存の1階は、正面から校舎、校舎からグラウンドへと続く運動筋膜となる広いハイドロティ空間『豊島アベニュー』を設け、各機能の間を直結するように、それへのアクセスをわかりやすくしましたとともに、生徒用の廊下を設け、毎日での部活動や運動会などは問題ございません。

2~4階は、南側に図書室、北側に音楽室、中央に生徒の生活・学習・研究活動の中心となる図書室や音楽室との複数な交差が生まれる設計としました。

また、図書室を中心としたラウンジ、職員室、しご室(ラーニングコモンズ)を配置し、見通しのよい開放感とすることで、その逆説を促進し、多様な学習スタイルへの対応と生徒の自発的な学習を促進する空間づくりを行っています。

現場組成は、取り組みとして、外観・屋根・高断熱化、岩盤Low-Eガラス、屋上緑化により結露金具での省エネルギーを図るとともに、雨水利用による屋上雨水貯留槽設置と、それへのアクセスをわかりやすくしましたとともに、生産性を高めました。

2~4階は、南側に図書室、北側に音楽室、中央に生徒の生活・学習・研究活動の中心となる図書室や音楽室との複数な交差が生まれる設計としました。

また、図書室を中心としたラウンジ、職員室、しご室(ラーニングコモンズ)を配置し、見通しのよい開放感とすることで、その逆説を促進し、多様な学習スタイルへの対応と生徒の自発的な学習を促進する空間づくりを行っています。

現場組成は、取り組みとして、外観・屋根・高断熱化、